

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名 (注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
		長浜でのくらしを選択 する若者を増やしたい	滋賀県 長浜市
公園を利用して子育て世代の増加を目指そう			

(注1) 地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名(公開)	究理ⅡL7 班		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	ドロップダウン選択 →	アイテムを選択してください。3
チームメンバー数(公開)	5 名		
代表者(公開)	大賀 皓介		
メンバー(公開)	森 萌彩、脇坂 伶奈、河崎 悠介、万木 慶大		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名(メンバー一覧ページを参照)、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について:
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示—非営利)4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様でお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OKなら右欄の○を選択 →

☐

<チームメンバー名簿:メンバー一覧ページ>

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動(サービス)を行うのかを具体的に示してください。将来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でわくわくするようなアイデアを求めます。その結果、課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。**2 ページ以内**でご記入ください。

※応募チームとして解決したい課題のポイントを、以下にごく短く書いてください

＜解決したい課題のポイント＞

滋賀県北部の少子高齢化に伴う人口減少を解決したい。

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアか、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこで』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

(参考)よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感(使う人の立場になってみる)が大切です。

＜提案するアイデアの内容＞

公園の整備を行うことで子育て世代の人たちが住みたいと思うようにさせる。

市と話し合いをして、市からの委託金の一部を公園の管理に充てるように交渉して公園の管理がしっかり行われるようにする。

自治体がそこに住んでいる住民と共に定期的に公園で草むしりをしたり、遊具の掃除をしたりする。

自分たちが公園の手入れをすることで親近感や愛着が湧いてより公園を使用したくなる。

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

＜参考：以下のように理由を書いていきます＞

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

現在滋賀県北部の人口は減少傾向にあって、南部は増加傾向にある。そこで私たちは子育て世代に焦点を当てることにした。子育て世代が住みたいと思う条件に子供の遊べる場所があることが分かったため、滋賀県北部と南部の人口の違いは公園にあるのではないかと考えたから。

また、その仮説を裏付けるため滋賀県北部と南部の公園の管理の違いを実際に公園に出向いて調査を行い、その結果、南部の方が丁寧に手入れされていることが分かった。

さらに草津市役所の方と長浜市役所の方に取材を行い、公園がどれくらい使用されているか調査した。

草津の方は小さな子供から高齢者まで幅広い世代に使用されているが、長浜の方は利用者が減少傾向にあると分かった。このことから、公園の整備に力を入れることで人口増加が期待できると考えた。

また、公園の状態が子供たちにどの程度影響があるか、子供たちは今外で遊びたいのかについて小谷子供園の五歳児の子と六歳児の子計54名を対象にアンケートを行った。

その結果公園があつて外で遊びたいと答えた人が約7割で、公園が汚くて外で遊びたいと答えた人が約2割だった。このことから子供にとって公園があることと公園の綺麗さは外で遊びたいと思う要因になっていると分かった。

(3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大まかな流れについて、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

自治体の公園の利用状況や環境を調べた結果、管理が行き届かず手付かずの公園があることが分かった。その理由は自治体には使い道の決められないお金が市に渡り、公園の整備には使われないこと。解決策として、公園の整備のためのお金を作り、より公園を活性化させるための活動をする。1つの市でおおよそ1億6000万円くらい公演の管理に必要だと言われている。